

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
1	一般	3	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	社会福祉センターの管理運営に要する経費			①指定管理者制度(シルバー人材センター)による管理運営。 ②施設の各設備の老朽化。	24,634	22,089	6精査・検証	①管理運営にかかる収支状況の精査検証を行う必要があるため。 ②引き続き指定管理者制度を活用し管理運営していく。	20,105
2	一般	3	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	社会福祉センター耐震診断・改修事業		○ ○	①社会福祉センターの耐震診断・改修工事を実施する。 ②平成25年度耐震工事完了。	3,045	10,999	1終了	①平成25年度に耐震改修工事について完了した。	0
3	一般	3	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	社会福祉センター改修事業		○ ○	①施設の長寿命化を図るため、社会福祉センターの大規模改修工事の設計を委託する。 ②築39年(耐用年数)を経過しているため、外壁・防水設備等の改修が必要とされている。(工事は平成26年度予定)	0	6,557	6精査・検証	①設計の精査・検証を行い、本体改修工事進行を管理を行う必要があるため。 ②平成25年度実施した設計委託に基づき、外壁、屋上防水、空調設備等の改修工事を行い施設の長寿命化を図る。	159,000
4	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	高齢者在宅福祉に要する経費			①緊急通報システム・紙おむつ給付等を通して在宅の高齢者や介護者の負担を軽減する。 ②制度利用条件の緩和や制度の周知により、利用者の増加を図る。	25,396	25,280	6精査・検証	①在宅福祉に関するニーズと展開する各サービスとを精査・検証する必要がある。 ②緊急通報システム等の利便性の向上と利用者の拡大を図る。	31,300
5	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	高齢者生きがい対策に要する経費			①敬老事業・老人クラブ等補助金やはり、きゆう、マッサージ等費用助成を通して高齢者の生きがい・健康維持を図る。 ②ゲートボール場等高齢者向けスポーツ施設の維持・管理。	19,089	18,439	7拡充	①生きがい創設に向けての核として敬老事業補助金等の拡充が必要であるため。 ②敬老事業は予算増して配分を変更、サロンは各地域に趣旨等を周知し2ヶ所程度増設を図る。	22,928
6	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	介護事業者の助成に要する経費			①介護保険サービスの利用者負担額の減額を行なった社会福祉法人等に対し、減額対象費用の一部を助成金として交付する。 ②高齢化による要介護認定者・サービス受給者の増加に伴い、低所得者に対する利用料の減免も増加が予想される。	0	0	6精査・検証	①介護保険法、国の実施要綱等の改正により、事業の内容を見直していくこととなる。 ②制度に基づき、継続して実施する。	1
7	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	高齢者の施設措置に要する経費			①養護老人ホームへの入所措置費。 ②高齢化に伴い対象者が増加傾向にある。	28,717	29,348	6精査・検証	①市の単独事業であり、絶えず検証する。 ②介護保険制度など補助事業の活用を絶えず検討する。	37,811
8	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	老人福祉施設の助成に要する経費			①特別養護老人ホーム等への整備資金補助を行う。 ②各法人の安定的な運営にとって必要不可欠な事業となっている。	8,729	8,548	6精査・検証	①法人の運営状況の把握、助成の精査・検証が必要である。 ②法人の安定的な運営目差し、精査・検証し補助を継続する。	8,397
9	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	四市複合事務組合負担金に要する経費			①三山園の運営のため負担金を支出する。 ②安定した運営の四市複合事務組合負担金として補助している。	17,645	18,243	6精査・検証	①三山園の運営状況の把握、検証が必要である。 ②三山園の安定的、適正な運営を四市で行う。	19,594
10	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険特別会計繰出金			①介護保険法に基づく給付費等の市町村負担金、その他事務費相当分として介護保険特別会計に繰出金を支出する。 ②高齢化による要介護(支援)認定者の増加に伴い、介護給付費の増加が見込まれる。	756,995	811,256	6精査・検証	①介護保険法に基づく市町村負担金を含め、事業運営のための財源として継続していく。 ②介護保険事業の円滑な運営のため、継続して実施。	878,990
11	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	福祉有償運送の事務に要する経費			①福祉有償運送の安全・安定的運営を図るため運営協議会を開催する。 ②安全及び利用者の利便性を確保し、事業者・利用者の増加を図る。	0	41	6精査・検証	①事業の安全性、利用拡大のため精査検証が必要である。 ②運営協議会を開催、新規事業者の参入等を検討する。	96
12	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険運営推進事業に要する経費			①介護保険の円滑かつ公正な運営を図るため「介護保険運営及びサービス推進協議会」による事業運営に係る審議等を行う。 ②高齢者人口の増加に伴い介護認定者も増加傾向にあり、サービス内容等の見直しや充実強化について、議論を重ねる必要がある。	124	1,864	6精査・検証	①介護保険事業の円滑な運営を図るうえで必要な事業であり、介護保険法に基づき実施されている。 ②第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向け介護保険運営及びサービス推進協議会において、広く意見を聞き事業計画に反映させる。	3,688
13	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	介護サービス利用者負担対策事業に要する経費			①障害ホームヘルプサービスの利用において定率負担額が0円となっている者が介護保険の適用を受けることとなった場合には、利用者負担を全額免除する。 ②対象者は限定されるが、高齢化に伴い増加が見込まれる。	0	0	6精査・検証	①低所得者対策として実施している事業であり、国の通知に基づき、事業を継続する。 ②引き続き低所得者の負担軽減を図り、適切な介護サービスを利用できるようにする。	2

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
14	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	シルバー人材センターに要する経費	高齢者支援課			①高齢者の就労対策の中核と位置づけるシルバー人材センターに補助金を交付する。 ②高齢者の世代・ニーズの変換等から会員数の減少傾向が見られる。	15,455	18,302	6精査・検証	①運営状況(収支決算)・活動状況を把握し精査検討する必要がある。 ②事業の拡大等、会員拡大に向けての協議・検討を行う。	17,867
15	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	地域密着型サービス拠点整備助成事業	高齢者支援課	○	○	①平成24年度に公募・選考した2事業者に対し、地域密着型サービス施設開設等準備支援事業補助金を交付する。 ②当該事業が1年間延長されたため、平成25年度において、9床分(増分4床)の予算措置が必要となった。	10,200	16,800	3休止	①平成24年度計画分について事業が終了した。 ②今後の増床等(平成27年度公募予定)について検討する。	0
16	介護	5	1	2	112いきいきとした高齢社会の形成	一次予防事業対象者支援事業に要する経費	健康増進課			①介護予防講座や地区活動で啓発を行うとともに講座参加者からボランティアを育成し介護予防活動の推進を図る。 ②介護予防講座新規参加者の増加を図り、ボランティアを育成し、意欲的に活動できるように支援する必要がある。	1,369	1,617	6精査・検証	①介護保険法において介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業に位置付けられている。 ②介護予防ボランティアの交流を図ることにより活動意欲を高め、活動の場を広げていく。	1,923
17	介護	1	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険事務に要する経費	高齢者支援課			①介護保険の事務処理全般にかかる事業経費。 ②介護保険システム関連経費が大部分を占めており、法改正等の都度改修費用がかかる。	39,450	34,444	6精査・検証	①介護保険に係る事務処理全般の管理を行っており、事務を適正に運していく上で必要な事業である。 ②事務経費及びシステム関連経費の削減。	33,123
18	介護	1	2	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険料賦課徴収に要する経費	高齢者支援課			①介護保険電算システムにより介護保険料の賦課・徴収等の処理を行い、出力された帳票をもとに各種事務を行う。 ②高齢化による被保険者の増加に伴い、介護費用も増加している。安定的な財源確保のため、介護保険料も引き上げとなっているが、それによる収納率の低下や滞納保険料額の増加等の悪循環もみられる。	6,524	5,989	6精査・検証	①介護保険の安定的な財源確保のための事業であり、保険料の賦課徴収に関しては、介護保険法で定められている。 ②介護保険料収納率向上対策計画に基づき、滞納者へ接触及び納付推奨を実施し、滞納保険料の解消に努めるとともに、納付書送付時に介護保険料リーフレットを同封し、保険料納付への理解を求める。	6,648
19	介護	1	3	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護認定審査会に要する経費	高齢者支援課			①介護認定審査会の開催経費。 ②高齢化に伴い審査件数が増加している。	16,192	17,306	6精査・検証	①公平で効率的な審査が出来るよう絶えず検証している。 ②効率的な審査を検討する。	18,713
20	介護	1	3	2	112いきいきとした高齢社会の形成	介護認定調査等に要する経費	高齢者支援課			①介護認定審査会に提出する書類(医師の意見書、調査資料)の作成経費。 ②高齢化に伴い作成件数が増加している。	25,630	26,207	6精査・検証	①最小の経費で調査資料が作成できるよう絶えず検証している。 ②最小の経費で調査資料が作成できるよう検討する。	34,956
21	介護	2	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①要介護認定者が介護サービスを利用した費用の保険給付分。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、介護給付の増加が見込まれる。	4,325,421	4,538,227	6精査・検証	①介護サービスの提供により、要介護状態の維持、改善に努め、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう支援している。 ②介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。	5,166,431
22	介護	2	1	2	112いきいきとした高齢社会の形成	特例介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。 ②過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①緊急時にも必要な介護サービスを安心して利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	40
23	介護	2	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	地域密着型介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①鎌ヶ谷市在住の要介護認定者が市が指定した事業所の介護サービスを利用した費用の保険給付分。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、介護給付の増加が見込まれる。	182,597	213,237	6精査・検証	①高齢者が要介護状態になっても住み慣れた自宅または施設で生活が継続できるよう支援している。 ②介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。	296,617
24	介護	2	1	4	112いきいきとした高齢社会の形成	特例地域密着型介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。 ②過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①緊急時にも必要な介護サービスを安心して利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	10
25	介護	2	2	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①要支援認定者が介護予防サービスを利用した費用の保険給付分。 ②高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い給付費の増加が見込まれる。	209,938	231,279	6精査・検証	①介護予防サービスの提供により、要支援状態の維持、改善に努め、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう支援している。 ②介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。	250,992
26	介護	2	2	2	112いきいきとした高齢社会の形成	特例介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。 ②過去の実績はないが、高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①緊急時にも必要な予防サービスを安心して利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	20

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち 多額 の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
27	介護	2	2	3	112いきいきとした高齢社会の形成	地域密着型介護予防サービス給付費に要する経費			①鎌ヶ谷市在住の要支援認定者が市が指定した事業所の予防サービスを利用した費用の保険給付分。 ②高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い給付費の増加が見込まれる。	110	1,327	6精査・検証	①高齢者が要支援状態になっても住み慣れた自宅等で生活が継続できるよう支援している。 ②介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。	100
28	介護	2	2	4	112いきいきとした高齢社会の形成	特例地域密着型介護予防サービス給付費に要する経費			①認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。 ②今まで実績はないが、高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①緊急時にも必要な予防サービスを安心して利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	1
29	介護	2	3	1	112いきいきとした高齢社会の形成	審査支払手数料に要する経費			①介護サービス等提供事業者からの給付費請求に係る審査支払事務を国民健康保険団体連合会に委託しているため、その手数料経費。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、審査支払手数料も増加するものと思われる。	5,143	5,422	6精査・検証	①国民健康保険団体連合会に審査支払業務を委託することより、業務の正確性及び事務量の削減を図り、給付の適正化と介護保険財源の健全運営につながっている。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	5,875
30	介護	2	4	1	112いきいきとした高齢社会の形成	高額介護サービス費に要する経費			①被保険者が在宅・施設・地域密着型サービスを利用した月の1割の利用者負担額が上限額を超えた場合の支給する。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、高額介護サービス費の増加も見込まれる。	83,916	89,428	6精査・検証	①被保険者の負担軽減を図っている。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	98,944
31	介護	2	4	2	112いきいきとした高齢社会の形成	高額介護予防サービス費に要する経費			①被保険者が在宅・施設・地域密着型サービスを利用した月の1割の利用者負担額が上限額を超えた場合支給する。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、高額介護サービス費の増加も見込まれる。	54	68	6精査・検証	①被保険者の負担軽減を図っている。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	92
32	介護	2	5	1	112いきいきとした高齢社会の形成	高額医療合算介護サービス費に要する経費			①医療及び介護の両制度における自己負担額の合計額が高額となった場合に、一定の上限額を超えた分を支給する。 ②高齢化に伴い介護・医療とも給付の増加が見込まれる。	10,733	11,315	6精査・検証	①安心して介護や医療のサービスが利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	14,199
33	介護	2	5	2	112いきいきとした高齢社会の形成	高額医療合算介護予防サービス費に要する経費			①医療及び介護の両制度における自己負担額の合計額が高額となった場合に、一定の上限額を超えた場合支給する。 ②高齢化に伴い介護・医療とも給付の増加が見込まれる。	0	0	6精査・検証	①安心して介護や医療のサービスが利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	1
34	介護	2	6	1	112いきいきとした高齢社会の形成	市特別給付費に要する経費			①第1号被保険者の保険料を財源として要介護者や要支援者に対し、法律で定められている保険給付以外の鎌ヶ谷市独自の給付サービス。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、当事業の利用者も増えていくことが見込まれる。	1,198	1,004	6精査・検証	①適切な介護サービスを利用することで、要介護状態の悪化防止や地域での自立した生活を支援している。 ②要望が多かった保険給付外サービスとして引き続き事業を実施し、利用者の日常生活を支援していく。	2,305
35	介護	2	7	1	112いきいきとした高齢社会の形成	特定入所者介護サービス費に要する経費			①負担限度額認定を受けた要介護被保険者が介護施設施設へ入所等サービスを利用した際の食費・居住費(滞在費)について、基準額と自己負担の限度額との差額を、国民健康保険団体連合会を通じて事業者に支払う。 ②高齢者の増加に伴い、要介護認定者、介護サービス利用者も増加しており、負担限度額認定の対象者数も増加すると思われる。	191,536	197,542	6精査・検証	①低所得者対策として、要介護認定者が安心して施設サービス等を利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	251,276
36	介護	2	7	2	112いきいきとした高齢社会の形成	特例特定入所者介護サービス費に要する経費			①低所得の要介護被保険者が認定の効力の生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由により、介護施設施設への入所等サービスを利用した際の食費・居住費(滞在費)について、償還払いで支給する。 ②今まで実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①必要な介護サービスを安心して利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	20
37	介護	2	7	3	112いきいきとした高齢社会の形成	特定入所者介護予防サービス費に要する経費			①負担限度額認定を受けた要支援被保険者が短期入所サービスを利用した際の食費・居住費(滞在費)について、基準額と自己負担の限度額との差額を、国民健康保険団体連合会を通じて事業者に支払う。 ②高齢者の増加に伴い、要支援認定者、支援サービス利用者も増加しており、負担限度額認定の対象者数も増加すると思われる。	105	214	6精査・検証	①低所得者対策として、要支援認定者が安心してサービスを利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	198
38	介護	2	7	4	112いきいきとした高齢社会の形成	特例特定入所者介護予防サービス費に要する経費			①低所得の要支援被保険者が認定の効力の生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由により、介護施設施設への入所等サービスを利用した際の食費・居住費(滞在費)について、償還払いで支給する。 ②過去の実績はないが、高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①必要な予防サービスを安心して利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	1
39	介護	3	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	財政安定化基金拠出金に要する経費			①介護保険財政の安定化のため、千葉県に設けられた財政安定化基金に国、県、市が3分の1ずつ拠出する。 ②各保険者において適切に給付費等を見込むことにより、交付・貸付が減少しており平成21年度以降、拠出金は0円となっている。	0	0	6精査・検証	①介護保険財政の安定化。 ②介護保険法に基づき適正に事務を進める。	1
40	介護	4	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	予防事業に要する経費			①談話室事業の負担金、保険料。 ②事業を担う推進委員の減少傾向。	800	800	6精査・検証	①参加者が安心して活動できるように検証している。 ②傷害保険の加入。	1,041



NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
41	介護	5	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	二次予防事業対象者把握事業に要する経費	高齢者支援課			①基本チェックリストの配付、回収、判定の経費。 ②対象者把握までの効率がよくない。	6,224	3,562	6精査・検証	①対象者把握までの時間を短縮できるよう検証している。 ②事業の実施が任意になったため、継続について検討する。	11,557
42	介護	5	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	通所型介護予防に要する経費	高齢者支援課			①二次予防対象者への運動講座等の開催経費。 ②二次予防対象と判定された方の中での参加希望者が少ない。	5,236	4,243	6精査・検証	①講座参加者が引続き体力維持活動を続けるための方策を検証している。 ②講座終了時に自主運営の集まりを促す。	8,509
43	介護	5	2	1	112いきいきとした高齢社会の形成	包括的支援事業に要する経費	高齢者支援課			①地域包括支援センターの運営費。 ②高齢化に伴い相談件数等が増えている。	72,721	74,327	6精査・検証	①相談件数等が増加しているため絶えず検証している。 ②地域包括支援センター職員の増員について検討する。	74,731
44	介護	5	2	2	112いきいきとした高齢社会の形成	介護サービス適正化事業に要する経費	高齢者支援課			①介護サービス従事者を対象とした研修費 ②研修の実施回数が少ない。	45	70	6精査・検証	①研修結果について絶えず検証している。 ②研修受講者のニーズに合わせた研修を実施する。	75
45	介護	5	2	2	112いきいきとした高齢社会の形成	家族等支援事業に要する経費	高齢者支援課			①徘徊高齢者位置情報サービス費など。 ②サービス利用者が少ない。	813	733	6精査・検証	①利用者数の増減について絶えず検証している。 ②必要と思われる対象者に利用を呼びかける。	1,542
46	介護	5	2	2	112いきいきとした高齢社会の形成	成年後見人制度利用支援事業に要する経費	高齢者支援課			①成年後見人市長申立てに係る経費など。 ②高齢化に伴い増加が見込まれる。	1,132	481	6精査・検証	①市長申立ての必要性を含めて絶えず検証している。 ②市民後見人養成講座を開催する。	4,668
47	介護	5	2	2	112いきいきとした高齢社会の形成	福祉用具・住宅改修支援事業に要する経費	高齢者支援課			①介護保険の適用にならない住宅改修経費。 ②利用者が少ない。	174	63	6精査・検証	①事業の必要性を含めて検証している。 ②事業の必要性を検討する。	242
48	介護	6	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	地域自立生活支援事業に要する経費	高齢者支援課			①介護相談員報償、ひとり暮らし高齢者への給食サービスを実施する。 ②相談業務の充実、利用者の拡大。	8,303	7,730	6精査・検証	①相談業務の充実、より多く利用者の増大を図るため精査・検討が必要である。 ②介護相談員現任研修会の実施、給食サービスの周知・利用者増大を図る。	11,485
49	介護	6	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険財政調整基金積立金に要する経費	高齢者支援課			①介護保険事業の財政運営を安定的に行えるよう基金を設置し、事業運営の中で生じる剰余金を当該基金に積み立てる。 ②介護保険財政が安定的に運営できるよう、剰余金については毎年度積立てを行っている。	158,972	180,921	6精査・検証	①介護保険財政の安定的な運営を図る。 ②計画値と実績値の検証を行い、剰余金の発生を最小限に留める必要があるが、剰余金が発生した場合は財政調整基金に積み立て、介護保険運営に役立てていく。	1
50	介護	7	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	第1号被保険者保険料還付金に要する経費	高齢者支援課			①過年度分の還付発生者に対し、保険料の還付を行う。 ②高齢化による被保険者の増加により、還付金発生者の増加も予想される。	818	704	6精査・検証	①適正な納付及び被保険者間の公平を図り、適正な介護保険料財源の運用を行う上で必要不可欠である。 ②介護保険法に基づき事業を継続する。	1,650
51	介護	7	1	2	112いきいきとした高齢社会の形成	国庫支出金等過年度分返還金に要する経費	高齢者支援課			①前年度の介護給付費に対し、交付を受けた負担金及び交付金に超過交付があった場合に返還する。 ②過去の実績や事業量の見込みから介護給付費の算定を行い交付申請をしたが、決算に伴い返還金が生じたため返還を行った。	21,628	10,531	6精査・検証	①適正な介護保険財源の運用のため必要事業である。 ②介護保険費用等積算については、計画値と実績値の検証を行い返還金を最小限にしていく。	1
52	介護	7	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	第1号被保険者還付加算金に要する経費	高齢者支援課			①過誤納となった保険料に対し還付加算金を加えて還付する。 ②高齢化による被保険者の増加により、還付金発生者の増加も予想される。	0	0	6精査・検証	①適正な納付及び被保険者間の公平を図り、適正な介護保険料財源の運用を行う上で必要不可欠である。 ②介護保険法に基づき事業を継続する。	1
53	介護	7	1	4	112いきいきとした高齢社会の形成	高額介護サービス費貸付金に要する経費	高齢者支援課			①介護サービス費の支払いに困窮する者に対し、高額介護サービス費の支給見込額の範囲内で無利子で貸付を行う。 ②過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①安心して介護サービスが利用出来る。 ②介護保険法に基づき、生活困窮者が安心して介護サービスが利用できるよう、引き続き実施する。	10
54	介護	7	2	1	112いきいきとした高齢社会の形成	一般会計繰出金	高齢者支援課			①当該年度の介護給付費見込額等に基づき一般会計から市の負担分を繰り入れ、翌年度において負担超過分の精算を行う。 ②過去の実績や事業量の見込みから介護給付費の算定を行い一般会計から市負担分の繰入を行ったが、決算に伴う市負担額の確定により一般会計への繰出を行った。	37,101	24,583	6精査・検証	①介護保険事業の健全運営のため必要事業である。 ②決算に伴う会計処理であるため、引き続き実施していく。	1